

経営比較分析表（令和3年度決算）

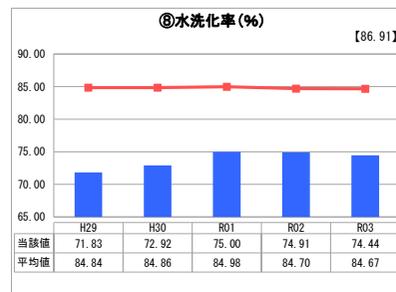
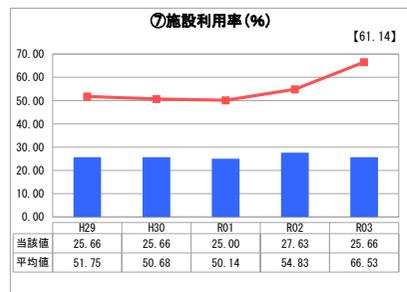
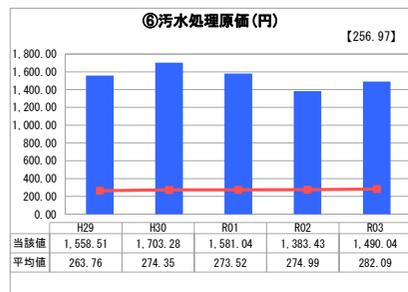
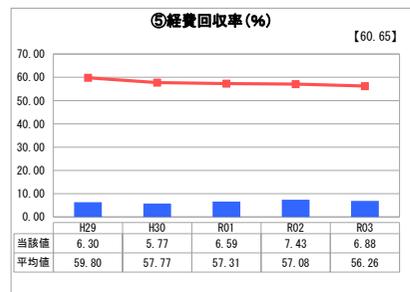
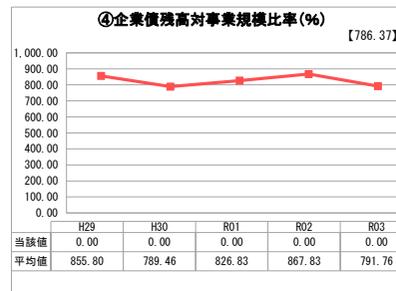
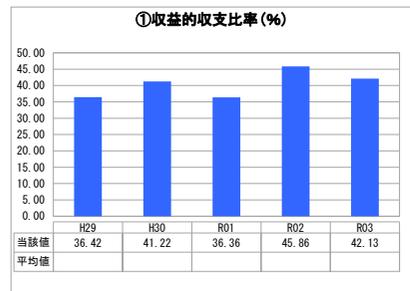
青森県 新郷村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	11.71	100.00	1,760

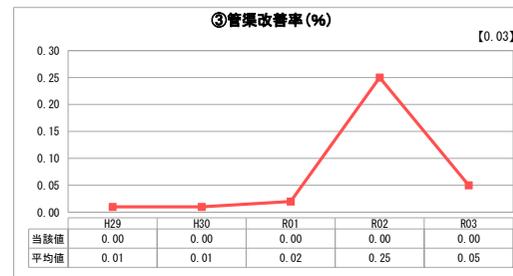
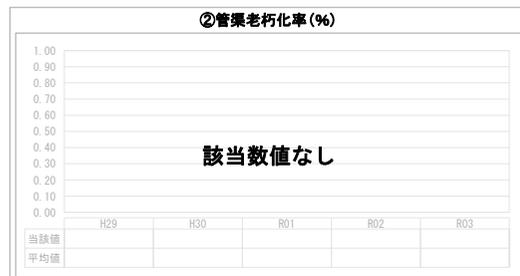
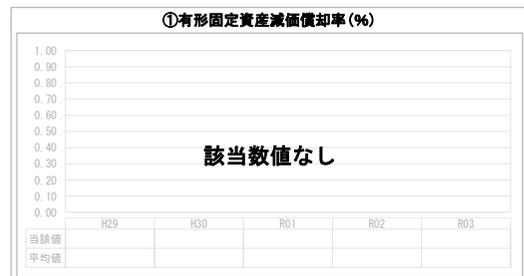
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,300	150.77	15.26
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
266	0.39	682.05

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は、30%~40%台で推移しており、赤字収支である。理由として、処理人口が少ない反面、地方債償還金(利子償還分)が高止まっていることが考えられる。

企業債残高対事業規模比率は、グラフ上は表示されていないが、地方債償還が進んでいることから減少傾向にあるものの、類似団体平均の約6倍の数値となっている。

(R3当該値(参考) : 4591.7%)

これは処理人口1人当たりの管渠延長が長く、建設コストが高かったことに起因すると考えられる。経費回収率は約7%と、類似団体平均と比較し著しく低く、汚水処理原価は平均の約5倍となっている。いずれも料金収入の低さと維持管理費の高さが理由にあげられる。

施設利用率は27%で、類似団体平均の2分の1と低く、処理水量が当初計画より少ないことが判る。水洗化率は74%とH29年度より微増傾向となっているが、類似団体平均より約10ポイント以上低く、未接続世帯について、より一層の加入促進対策を進める必要がある。

2. 老朽化の状況について

建設から20年経過し、管渠施設は更新時期には至っていないものの、処理施設は機械・電気設備を中心に老朽化が進んでいると考えられる。

平成30年度に設備の機能診断を実施し、令和元年度には最適化整備構想を策定しており、その後施設の改築更新を進めることとしている。

全体総括

処理区域内における人口減少や高齢化により、接続率が停滞し、営業収益が上がらない状況にある。対策として、未接続世帯に対する加入促進活動をより一層強化するとともに、料金水準の見直しにより、収益の改善を図る必要がある。

また、汚水処理費を低減させるため、処理場の運転方法や、維持管理委託の見直しについて検討する。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。